

1. 鶴舞公園とその周辺

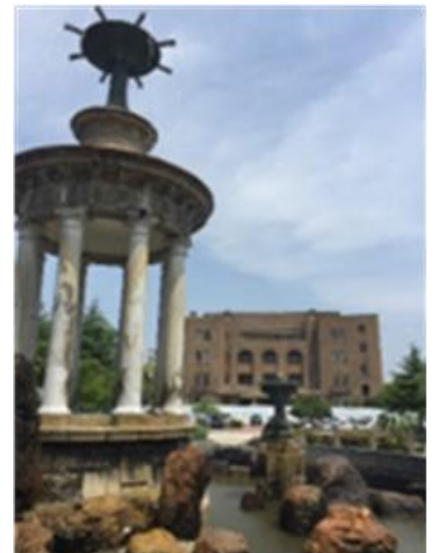
まずは公会堂が建つ鶴舞公園のおはなしから。

鶴舞公園は 1909(明治 22)年に名古屋市初の公園としてオープン。

平成 21 年(2009 年)には開園 100 周年を盛大に祝い、国登録記念物(名勝地)にも指定。花見の名所(「日本さくら名所 100 選」)としてもおなじみですよね。念のため、読み方は「つるま」公園ですのお間違いないように。

鶴舞公園のシンボルともいえる噴水塔は、地下鉄工事で一時撤去されていた時期もありましたが、100 年以上前の姿(ローマ様式の大理石円柱に石組、マツの木を配すという珍しい和洋折衷式)現在に留めています。

この噴水塔、上から見るとアニメ<ポケットモンスター>に登場するアイテム、モンスターボールにそっくり。そんなこともあってか、数年前、スマホゲーム<ポケモン GO>の「聖地」としてこの噴水塔(と鶴舞公園)が突如大ブレイクし、連日深夜まで多くの人押し寄せました。その噴水塔を中心に、縦横の通路がクロスするのが鶴舞公園の特徴。公会堂は縦通路の上(北側)、公園のデザインの中で重要な位置を占めているのがわかります。



噴水塔から公会堂に向かって進んでいくと、公会堂の正面にまるで門柱のように建つ謎の石碑があります。その由来を調べていたら、公園が国の名勝地に指定された記念碑で、100 周年の式典で披露されたものだそうです(写真は 100 周年事業報告書より)

ところで、鶴舞公園に市立名古屋動物園があったのをご存知でしょうか？ 場所は現在の多目的グラウンド(テラスポ鶴舞)の南側でした。この動物園は東山動植物園の前身にあたるもので、1918年(大正7年)に開園して1937年(昭和12年)に東山に移転するまでのおよそ20年間、この地に名古屋市初の動物園があったんですね…。

さて、1937年という年は鶴舞公園地域にとって重要な年になりました。動物園が東山に移転したこと以外にも、鶴舞駅が開業したり、名古屋市の昭和区が誕生したのもこの年のことでした。お気づきの方もいらっしゃると思いますが、公会堂が開館したのは1930年(昭和5年)ですので、開館当初は現在のような最寄り駅としての鶴舞駅はまだ存在していなかった、ということになります。